

最新教職法令に基づく多様な履修相談対応事例

小野 勝士（龍谷大学 社会学部教務課）

講師略歴

関西学院大学大学院法学研究科民刑事法学専攻博士課程前期課程修了。修士（法学）。平成13年度から龍谷大学に勤務し、教学部、経理課、文学部教務課、世界仏教文化研究センター事務部を経験し、令和2年から現職。大学教務実践研究会代表。関連する著書に『教職課程事務入門』シリーズの【1】～【4】（いずれもジダイ社）がある。

プログラム概要

ある日電話で「2009年に卒業したのですが、これから教員免許状を取得したいのですが、どのようにすればよいのでしょうか？」とかかかってきたときどのように対応しますか？

このような卒業生等からの相談について、どの入学年度のカリキュラムを適用するか等個別対応になる場合がほとんどだと思われま

す。本プログラムでは、学生配付の学修の手引きでは対応できない4つの取得パターンについて、拠り所となる法令及び具体的適用方法について紹介します。そして、学んだ知識の業務への活用方法について、講義・ワークを通じて教職課程の窓口対応力の向上を目指します。なお、ワークですが、こんなこと知っていますか？どう対応しますか？といった軽い内容です。

【当日の流れ】

1. 自己紹介（講師、参加者〔グループ内〕）
2. ケーススタディ（4つの事例）〔講義・ワーク〕
3. 科目等履修生の適用カリキュラムについて〔講義〕
4. まとめ

準備物・事前課題

当日の参加者間の交流・ワークの時間を多く取るため、事前学習用のオンデマンド教材にて履修指導に関する最新法令の内容をまとめています。事前に視聴しておいてください。

主な受講対象者

中学または高等学校教諭免許状設置課程のある大学・短大において教職課程の履修相談を担当している教職員

到達目標

1. 法令を理解したうえで正確に不足単位の説明をすることができる。
2. 履修相談にあたって必要な情報が掲載されているウェブサイト等を提示することができる。
3. 想像力を働かせて履修相談に対応する姿勢を身につけることができる。